2026年11月13日

各　位

会 社 名　　日本和装ホールディングス株式会社
代表者名　　代表取締役会長兼社長　　吉田　重久
（コード番号：2499　東証スタンダード）
問合せ先　　管理担当取締役　　岩本　福子
（TEL. 03-5843-0097）

通期業績予想の修正及び第３四半期剰余金の配当の決定に関するお知らせ

当社は、2026年11月13日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、2026年２月13日に公表いたしました2026年12月期通期連結業績予想を修正するとともに、2026年９月30日を基準日とする第３四半期剰余金の配当を決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．業績予想の修正について

2026年12月期通期連結業績予想数値の修正（2026年１月１日～2026年12月31日）

	売　上　高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	4,560 ～4,660	397 ～447	356 ～401	246 ～275	27.14 ～30.33
今回修正予想（B）	4,670 ～4,770	601 ～653	543 ～590	321 ～354	35.62 ～39.28
増 減 額（B－A）	110 ～110	204 ～206	187 ～189	75 ～79	－
増 減 率（　％　）	2.4 ～2.4	51.4 ～46.1	52.5 ～47.1	30.5 ～28.7	－
（参考）前期実績（2025年12月期）	4,485	375	324	231	25.51

２．修正の理由

当社グループは、「ONE日本和装」の方針のもと、本社と全国16拠点が一体となった営業運営体制の強化や、「和装家」を軸とした顧客基盤の充実に取り組んでまいりました。販売会や各種催事における販売機会の拡大等により、第３四半期連結累計期間の売上高及び売上総利益が前年同期を上回りました。

また、経営体制の変更に伴う役員報酬の減少や人員体制の変化等により、販売費及び一般管理費が前年同期を下回り、収益性が改善いたしました。

こうした第３四半期連結累計期間の実績に、第４四半期の業績見通し、10月の取扱高実績及び足元

の取扱高見込みを反映して通期連結業績予想を見直した結果、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益について、前回発表予想レンジの上限・下限をいずれも引き上げることといたしました。

（注）上記に記載した業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

３．第３四半期剰余金の配当の決定について

第３四半期剰余金の配当の内容

	決　　定　　額	直近の配当予想 （2026年2月13日公表）	前期実績 （2025年12月期）
基　準　日	2026年９月30日	同左	2025年９月30日
１株当たり 配当金	６円00銭 （普通配当３円00銭） （記念配当３円00銭）	３円00銭	３円00銭
配当金総額	53百万円	－	27百万円
効力発生日	2026年12月14日	－	2025年12月12日
配当原資	利益剰余金	－	利益剰余金

４．第３四半期剰余金の配当決定の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営上の重要課題の一つと認識し、将来の事業展開及び財務体質の強化に必要な内部留保を確保しつつ、業績及び財務状況等を総合的に勘案し、安定的な配当を継続して実施することを基本方針としております。

当社は、2026年９月８日をもちまして上場20周年を迎えました。これもひとえに、株主の皆様をはじめとする関係者の皆様からの長年にわたるご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。

つきましては、株主の皆様の日頃のご支援にお応えするため、2026年９月30日を基準日とする第３四半期剰余金の配当について、普通配当１株当たり３円に上場20周年記念配当１株当たり３円を加え、１株当たり６円とすることといたしました。

以　上